

発行

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 KD X 浜松町ビル6F
TEL (03) 3438-0984 (直通) FAX (03) 3431-1803

第34期生 163名が受講スタート!!



社会福祉士への期待

社会福祉士養成所 所長
井上 博
日本知的障害者福祉協会 会長

この度は、34期社会福祉士養成課程へのご入学おめでとうございます。当協会の養成課程は、日本で初めて立ち上がった、3つの社会人向け養成課程の一つであり、長い歴史があります。

現在、当協会では重点方針に「ソーシャルワーク実践」を挙げています。その中で特に重要な視点がふたつあります。ひとつは社会・生活モデルの視点です。個人に原因があると考え医学モデルではなく、個人と社会環境との関係性を重視する社会・生活モデルの視点を学んでいただきたいと思います。もうひとつはミクロ・メゾ・マクロレベルの視点です。それぞれのレベルの示すものは課題の捉え方で変わってきます。例えば、ミクロは私たちが日々支援させていただいている利用者一人ひとりへの権利擁護やより良いサービスの提供です。メゾは支援現場である事業所のあり方や近隣の地域社会との関係です。マクロは国や地方自治体の政策や計画のあり方です。その三つの視点が常に連動し、最終的には利用者一人ひとりの権利の実現、提供されるサービスの質の

向上を目指していく相互の関係性や一体性が重要となります。その担い手の中心は日本では社会福祉士であるべきです。

国の社会保障審議会障害者部会では障害者総合支援法の2024(令和6)年見直しの議論が行われ、6月に報告書がまとめられました。重要な論点に障害者虐待の防止や障害福祉サービス等の質の確保・向上があげられています。国の資料は、障害者虐待、特に障害者福祉施設従事者等による虐待は7割が知的障害のある人たちであり、発生場所は障害者支援施設やグループホーム、生活介護といった障害の重い利用者が多く、第三者の目が入りにくいという特色をもった事業所で発生しやすいことを表しています。障害者虐待の防止は本協会にとって、最も重要なそして喫緊の課題であります。また、サービス等の確保・向上のためのサービスの質の評価は支援の質に関わる本質的な問題であり、利用者の希望やニーズに対応しているかが最も大事な視点であるとの意見を障害者部会で発言してきました。

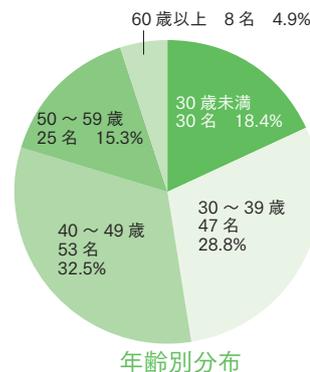
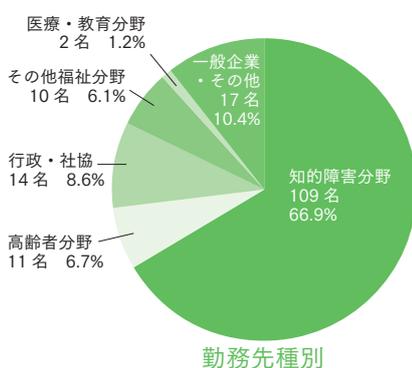
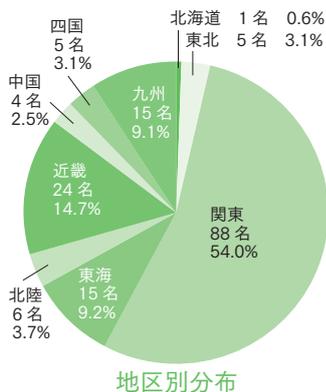
このように利用者一人ひとりの人権が尊重され社会の中で大切な存在として認められる寛容な地域共生社会をつくるために、皆さんには社会福祉士としてのソーシャルワーク実践が求められているのです。皆さんには学びに精励され、社会福祉士資格を取得して障害福祉分野におけるリーダーとして中心的な役割を果たしていただくことを期待します。

第34期生の概要 (令和4年6月現在)

第34期生社会福祉士養成所の受講生は、163名です。概要については下記の通りとなります。

運営状況 (過去3年間)

年度(期生)	応募者数	入学者数	修了者数
令和2年度(32期生)	208名	199名	178名
令和3年度(33期生)	181名	170名	
令和4年度(34期生)	173名	163名	



第34回 国家試験結果報告

第34回社会福祉士国家試験において本養成所より122名（うち3年度修了者61名）が合格しました。
前年度（第33回試験）は139名（うち2年度修了者84名）でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（％）
第32回試験	39,629	11,612	29.3
第33回試験	35,287	10,333	29.3
第34回試験	34,563	10,742	31.1
第1回試験からの合計	981,775	274,658	28.0

本養成所修了者の国家試験の結果

	総数		新卒	
	合格者（人）	受験者（人）	合格者（人）	合格率（％）
第32回試（30期卒業生）	153	195	93	47.7
第33回試（31期卒業生）	139	201	84	41.8
第34回試（32期卒業生）	122	161	61	37.9

第35回 社会福祉士国家試験の概要（予定）

1. 試験日 : 令和5年2月5日（日曜日）
2. 受験手数料 : 19,370円（昨年度額）
3. 受付（提出期間） : 令和4年9月8日（木曜日）から10月7日（金曜日）まで（消印有効）

※詳細は、社会福祉振興・試験センターのホームページ（<http://www.sssc.or.jp/>）をご参照ください。



科目担当教員から

「法的な専門用語に注意しましょう」

社会福祉士養成所の教員となったのは今から20年前ぐらいでしょうか。当時勤務していた大学の同僚から紹介されたのがきっかけです。私の担当していた科目についてかつてはスクーリングがあったのですが、当時、横浜のみなとみらいの大きな会場で、たくさんの受講生を前に講義をしたことがなつかしく思い出されます。ビデオも見せ、ポイントとなる点を話していたとき、うなずきながら真剣に受講されていて、終了後通り過ぎるときには何人もの人に会釈していただいたのが印象的でした。スクーリングで講義をすることはなくなり、少し寂しくなりましたが、レポート課題作成と採点を通じて、受講生の皆さんと関わり続けてきました。

「権利擁護と成年後見制度」という科目は法律に深く関連するテーマを扱います。とりわけ各人が持っている権利をどのようにして擁護するのか、人権の視点は当然のことながら、行政面も含め、権利を擁護する側に立つ人や組織への深い理解も必要となりますが、とりわけ民法の知識が重要です。

もともと、ヨーロッパで大学が設立されて以来、はじめから「神学部」、「医学部」、そして「法学部」があるように、法律学は古い学問で、中でも民法はその柱、中枢にあるといってもよいのです。学ぶのも簡単ではありません。というのも、成年後見制度、売買契約や賃貸借契約などの各種の契約、意思表示、不法行為、不当利得などたくさんの制度が民法の中に存在しているからです。それらは一つ一つが独立していながら、相互に深く結びつき、関連し合っているのです。法律学の素人がすぐに理解できるわけではないのです。

ところが、皆さんの多くが使っているテキストは、このような民法の各制度を実に要領よく整理し、コンパクトな形にしています。本来は、習得までに長い時間がかかるものを、分かりやすくかみくだき、皆さんの仕事に役に立つように工夫されているので、ぜひ丁寧に読んでほしいのです。

そして医学に関する科目などと同様、法律学、民法に関わる科目は、なんと言っても専門用語が大事です。悪徳業者から不当な契約を結ばされ、消費者被害に遭うケースは一般の社会でも多く見られますが、社会福祉の現場に立つ皆さんもこのような場面に立ち会うことが出てきます。弁護士さんに全部お任せではいけません。たとえば判断能力が平均的な人のレベルに達しない人の結んだ不当な契約を民法はどのように扱うのか、具体的なケースを通して学んでください。「取消し」、「無効」、「消費者契約」などの専門用語を正確に理解していないと、被害者を助けることも難しくなるのです。

これまで、レポートを読ませていただくと、様々な経験に基づいた興味深い内容も多く見られました。私にとっても勉強になることが多く、そのようなときは楽しさを感じます。まとめなければならない点はきちんと整理しつつ（これがまず大事）、独自の視点・経験を折り込んだ独創的なレポートを書いてほしいと思っています。



中山知己

明治大学教授

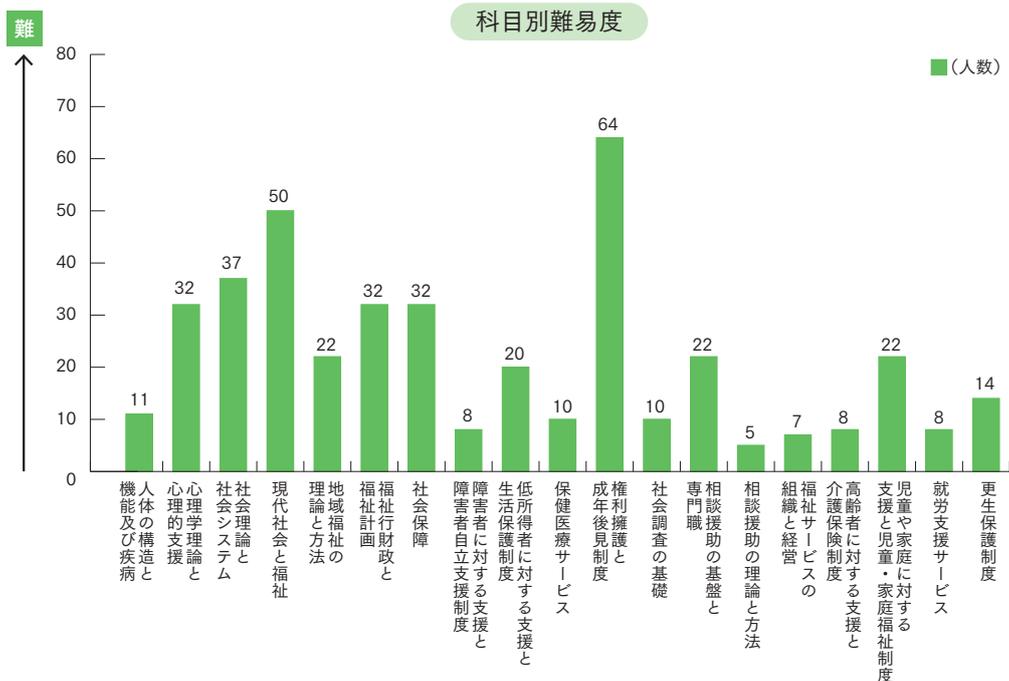
「権利擁護と成年後見制度」担当

第34回 アンケート科目別難易度

令和3年10月に修了した第32期生178名を調査対象とし、136名(①受験をした125名②申込みをしたが当日受験しなかった8名③申込みをしなかった3名)からの回答が得られました。

図は受験者の回答をもとに難易度(難しいと答えた人数)を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収をしていますので、未提出の方は早急に提出してください。



先輩からのメッセージ

合格した方からのコメント

スケジュールと環境の工夫

- ◆ 2年生になったら、学習(レポート課題)と試験対策を並行して進めておいた方が安心して試験に臨めると思う。
- ◆ 子どもが寝ている朝と夜にテキストと過去問を主に勉強した。
- ◆ 働きながらで中々勉強時間が確保できず、土日(休みに)に図書館などで集中的に勉強した。
- ◆ 生活リズムの中に勉強する時間を作った。その時間は必ず勉強した。
- ◆ 「大まかな勉強スケジュールを立てる→余裕を持つこと。できなかった日の代替日を確保する」「自分なりの参考書を仕上げる」「寝る」が大切だと感じた。

学習方法の工夫

- ◆ 模擬試験を受験したことで、時間配分をつかむことができた。試験直前に養成所から配布された「頻出項目チェックテスト」を繰り返し行い、「年表」を見直したことが合格につながった(年表にはこれまでテキストで学んだことを赤字で書き込んだ)。
- ◆ とにかく過去問をやった。答えではなく、何が違うのか、何が正しいのかを答えられるようにした。
- ◆ 「メルマガ」の問題はコピーしてノートに貼り、何度か目を通した。
- ◆ 要点を整理するため、YouTube 動画を活用した。問題が解けず、間違いばかりでつらくなったが、分かり

やすい動画を見つけて、問題が解きやすくなった。試験の当日まで、動画と問題集に取り組んで数点アップしたと思う。

- ◆ スマホで隙間時間にアプリを使い、過去問を沢山解く。参考書等は時間を決めて家でゆっくり行った。参考書等は毎日やれなくても、過去問をスマホで1日5問解いたらOKにしてゆるく続けた。
- ◆ 若い頃と比べ、記憶力が落ちているので、単純暗記(人名等)は要点を付箋に記して、トイレの壁、洗面台の鏡、冷蔵庫の扉に8月頃から貼っていた。「接触機会と工夫」で克服した。
- ◆ 白書等、公的資料で確認することで、記憶の定着にもつながった。

気持ちも大事

- ◆ 最後は熱意が大切。適宜、気分転換もポイント。
- ◆ 「メルマガ」のコメントにも大変勇気づけられ、コロナ禍の中、受験勉強の励みになった。レポートも大変だったが、先生方からのコメントは嬉しかった。

残念ながら合格できなかった方からのコメント

- ◆ 内容が十分理解できておらず、知識が定着していなかったため、不合格という結果に終わった。解説までよく読み込んで理解していないと本試験で戸惑う。
- ◆ 本格的に勉強を始めたのが約1ヶ月前だったので、コツコツやっておけばよかったと反省。仕事をしながらの受験の場合は、余裕を持って試験に取り組むべき。



先の見えない今、社会福祉士になるということ

木伏 正有 社会福祉士 登録第 99609 号



第 34 期生の皆様 ご入学おめでとうございます。当養成へようこそいらっしゃいました。強い「思い」をもって入学された方、その種を 1 年半の学びの中で更に確かなものに育ててください。また、「そこまでではないけど……」という方、これから学ぶ社会福祉士の知識や技術、そして価値・倫理をとおして目の前の出来事を見ていきましょう。日々の仕事や暮らしの景色が変わるかもしれません。当養成所は、単に国家試験に合格するだけの場所ではありません。社会福祉士資格を活かして何をするのかという自問を繰り返す 1 年半にさせていただきたく思います。そして、その醸成された「思い」こそが、国家試験合格までの厳しく孤独な日々を後押ししてくれるものと信じます。

第 33 期生のみなさんは、最後のレポート提出にむけて準備を進めていることと思います。32 本のレポートを書き上げても、ほっとしてはいけません。ここがターニングポイントです。国家試験にむけての受験勉強に切り替えていきましょう。毎年、合格した先輩や残念ながら桜が咲かなかった先輩から「受験勉強は早めに。気持ちの余裕が違う。」「5 学期レポート、相談援助演習（スクーリング）で一休みしない。」と助言をもらいます。本号でも「先輩からのメッセージ」にまとめています。是非、読んで参考にしてください。

最後に、受講を延長されているみなさん、昨年と状況は変わりましたか。仕事や家庭の多忙さや体調の不調さに押し

つぶされていませんか。ひとつめの「修了する」というゴールは見えてきました。10 月までにいつ何をするのかを書き出し可視化しましょう。それをふまえて、二つ目のゴール、国家試験までのロードマップを書き上げてください。キーワードは「今日から」です。

現在、社会は混迷にあります。世界はまだ、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しをもつことができていません。現場で従事している受講生のみなさんは、気の抜けない日々が続いていることと思います。しかし、そんな状況でも、入学し学び続けて（学び続けようとして）います。そして、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻も出口が見えません。多くの人たちが多くの不条理を伝えています。命懸けで「今」を発信し続けています。「情報リテラシー」を意識しつつも、まずは、毎日の報道では知ることができない人たちの存在を知るところから私たちの行動は始まると思います。

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義（2014 年）には「社会正義、人権、集団的責任、および多様性の尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす」とあります。そして、日本社会福祉士会の社会福祉士の倫理綱領（2020 年）ではその定義を「ソーシャルワーク実践の基盤となるものとして認識し、その実践の拠り所とする」としています。先が見通せない今、私たちはなにをしたらよいのか、学びはその方向を指し示してくれるに違いありません。

養成所ニュースプラス

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所

「養成所ニュースプラス」は、登録されたメールアドレスに随時、養成所からのお知らせや受験に関する情報、過去の国家試験問題と解説等[※]をお届けするメールマガジン（無料）です。通勤・通学や普段の学習の合間に、受験勉強の“きっかけ”としてご利用ください。登録に関してはホームページをご覧ください。

随時配信

各種情報配信

受験対策

※ 9 月ころより「受験対策ミニ講座」を配信予定



二次元コード



社会福祉士養成所ホームページ URL <http://www.aigo.or.jp/yoseijo/>

令和 4 年度スクーリング日程

	33 期生スクーリングⅡ	34 期生スクーリングⅠ
東京会場	令和 4 年 7 月 29 日（金）～31 日（日）	令和 4 年 8 月 19 日（金）～21 日（日）
仙台会場	令和 4 年 7 月 16 日（土）～18 日（月祝）	令和 4 年 7 月 16 日（土）～18 日（月祝）
名古屋会場	令和 4 年 8 月 5 日（金）～7 日（日）	令和 4 年 8 月 5 日（金）～7 日（日）
大阪会場	令和 4 年 7 月 8 日（金）～10 日（日）	令和 4 年 7 月 8 日（金）～10 日（日）
福岡会場	令和 4 年 8 月 26 日（金）～28 日（日）	令和 4 年 8 月 26 日（金）～28 日（日）

国家試験にむけての おすすめ図書

- ・週刊福祉新聞（福祉新聞社）
- ・福祉小六法（中央法規出版、ミネルヴァ書房）
- ・社会福祉用語辞典（中央法規出版、ミネルヴァ書房）
- ・社会福祉士過去問解説集、受験ワークブック、見て覚える！国試ナビ（中央法規出版）
- ・RB 社会福祉士国家試験のためのレビューブック国家試験問題解説（メディックメディア）

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。✉ yoseijo@aigo.or.jp